



「人に優しい医療」への貢献

ディービエックス株式会社
株主通信 2022年3月期第2四半期報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

証券コード3079



代表取締役社長
柴崎 浩

 株主の皆様へ

To Our Shareholders

新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小し、
前年同期比で増収・増益となりました。



第2四半期業績予想の上方修正がございました。当第2四半期累計期間の業績について新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえて、総括をお願いします。
また、2022年3月期の業績予想についてもお話しください。



売上高は概ね計画通りに推移しましたが、販売費及び一般管理費につきましては旅費交通費など想定以上の削減があったほ

か、一部の経費の執行が遅れたことから、営業利益・経常利益・四半期純利益・1株当たり四半期純利益が当初に公表した予想値を上回る見通しとなりましたので、9月15日に第2四半期（累計）の業績予想を修正しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響は上期も継続しましたが、前年同期より影響の程度は縮小しています。一方、下期も一定の影響が継続するものと考えており、2022年3月期の通期業績予想に変更はありません。

Q 不整脈事業の市場の見通しと事業戦略について、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえてお話しください。

A 新型コロナウイルス感染拡大の影響から前期第1四半期に大きく売上が減少し、2022年3月期はその回復途上にあります。一方で、不整脈事業における診断・治療需要は引き続き増加していると考えており、新型コロナウイルス感染拡大の影響からの回復を経て、市場は中期的に成長を継続していくものと考えております。強みである専門的な提案力を活かして、施設や品揃えの拡大による売上増加を図ってまいります。

Q 虚血事業の市場の見通しと事業戦略について、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえてお話しください。

A 不整脈事業と比較すると、症例数の回復がやや遅れています。また、虚血事業の柱の1つであったエキシマレーザ血管形成システム関連商品の取り扱いについて変更があったことの影響も生じております。新たな商品の発掘・開発を進めることで事業ポートフォリオの改革を図ってまいります。上期8月に販売を開始した自社企画開発商品である「RAQUOS(ラクオス)インジェクションシステム」はその1つで、下期以降本格的に販売を進めてまいります。

Q 「RAQUOSディスポーザブルキット」の薬事認証を取得されました。RAQUOSの特徴や現場にもたらすメリットについて教えてください。

A 2021年7月19日に「RAQUOS(ラクオス)ディスポーザブルキット」の薬事認証を取得しました。「RAQUOSディスポーザブルキット」は「RAQUOSインジェクションシステム」(2020年10月1日薬事認証取得)に接続して使用する専用キットであり、今回の薬事承認により、「RAQUOSインジェクションシステム」及び「RAQUOSディスポーザブルキット」の国内販売を、2021年8月より開始しました。また、海外販売を視野に入れた準備も開始しております。

本システムは、心臓血管インターベンション治療など血管造影を行う際の造影剤注入装置で、開発にあたっては、医療現場

のニーズを積極的に取り入れ、本体のコンパクト化やスムーズな操作性を実現し、高精度な造影剤注入による鮮明な血管造影による診断をサポートします。手技時間の短縮や放射線被曝の低減、造影剤使用量の削減が期待され、医療従事者や患者様に優しい医療を提供するものです。

Q 社内における新型コロナウイルス感染者の発生及び対応についてお話しください。

A 上期には本社及び営業所において若干名の感染がありましたが、営業所等の閉鎖はなく、安定的な医療材料の提供を継続することができました。引き続き感染防止策を徹底しており、また、在宅勤務手当支給等の在宅勤務制度を整備するとともに高度な情報セキュリティレベルを備えたリモートワーク環境を社員に提供しております。感染により医療材料の供給が途切れないよう、営業所閉鎖を想定したバックアップ体制の計画と準備も行っております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当社は今後の事業展開のために必要な内部留保資金を確保しつつ、株主の皆様に対して長期的な利益還元を行うことを基本方針とし、配当につきましては継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを方針としております。前期の業績は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け厳しいものとなりましたが、継続的かつ安定的な配当を行う方針を踏まえ、配当額の変更を行いませんでした。2022年3月期期末配当も前期と同額の1株当たり24円(配当性向36.7%)を予定しております。

また、2013年に株主優待制度を導入し、2015年以降は100株以上200株未満の株主の皆様にはクオカード1,000円、200株以上の株主の皆様にはクオカード2,000円を贈呈させていただいております。

当社は医療現場のサポートを通して社会貢献を果たす理念のもと、今後も医療現場に様々なソリューションを提供することで業容拡大を図ってまいります。引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

ミッション(企業理念)

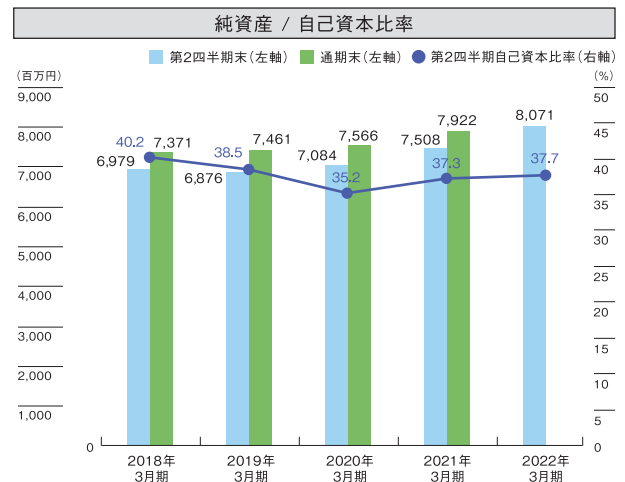
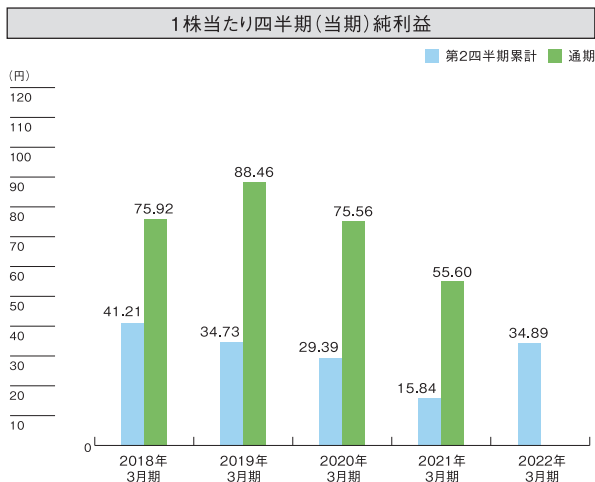
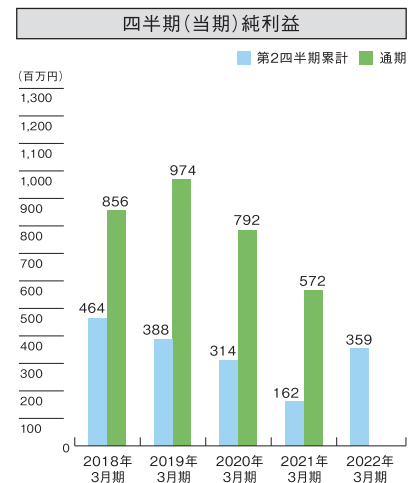
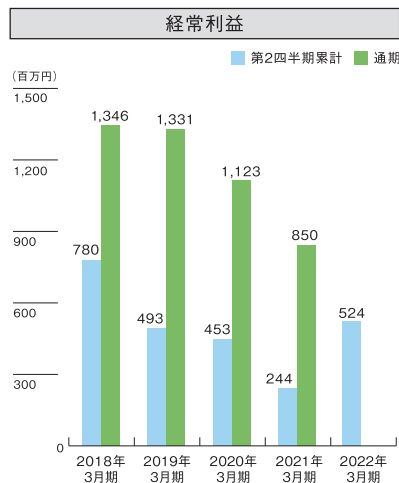
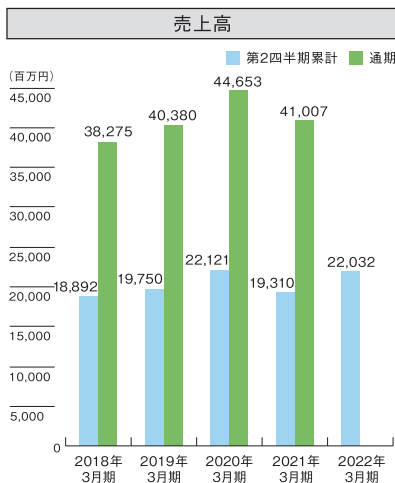
- 私たちは、医療業界で患者・医師・医療関係者のニーズを絶え間なく追求し、創造的なソリューションを提供する事で、社会に貢献する集団です。
- 目標に向かって個々の力を最大限に発揮する『心』ある社員により集団を結成し、確かな未来を見据え、目的意識を明確に保持し、変化に対応する新しい企業です。

財務ハイライト (2021年4月1日～9月30日)

当第2四半期決算のポイント

新型コロナウイルス感染拡大の影響が縮小し、
前年同期比で増収・増益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は220億3千2百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は5億2千2百万円(同113.2%増)、経常利益は5億2千4百万円(同114.5%増)、四半期純利益は3億5千9百万円(同120.9%増)となりました。



ポイントの解説

1 売上高

新型コロナウイルス感染拡大による症例数の減少、新規販売活動の自粛といった影響が継続しましたが、その影響の程度は前年同期より縮小しました。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期比で14.1%増加し、220億3千2百万円となりました。

2 営業利益

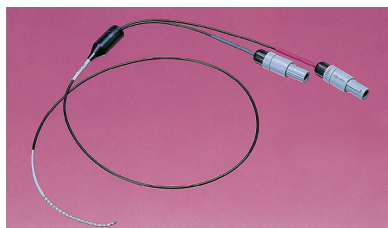
前年同期実績2億4千5百万円に対して売上高増加により3億1千6百万円増加、粗利率低下により4千2百万円減少、販売費及び一般管理費減少により3百万円増加しました。その結果、当第2四半期累計期間における営業利益は前年同期比で113.2%増加し、5億2千2百万円となりました。

事業セグメントの状況

不整脈事業 Arrhythmia Business

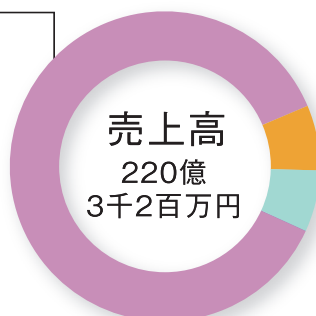
当第2四半期累計期間実績
売上高191億1千4百万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、症例数の減少傾向が継続しているものの、1度目の緊急事態宣言の影響を強く受けた前年同期からは大きく回復し、当第2四半期累計期間の売上高は191億1千4百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益は20億5千2百万円（同17.2%増）となりました。



電極カテーテル

不整脈の診断や薬効評価に欠かせない心臓電気生理検査用カテーテル、およびアブレーション（焼灼）治療用カテーテルなどがあります。



事業セグメント別売上高構成比

- 不整脈事業 86.8%
- 虚血事業 6.8%
- その他 6.4%

*「その他」においては、脳外科商品、一般外科商品、消化器商品、放射線防護用品などを販売しております。

虚血事業 Ischemia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高14億9千8百万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響による症例数の減少傾向の継続に加え、感染拡大防止のため総代理店として取り扱っている商品について新規販売活動を自粛したことから、当第2四半期累計期間の売上高は14億9千8百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は3億9百万円（同9.1%減）となりました。



エキシマレーザ血管形成システム

現在日本国内においてエキシマレーザによる治療は「心内リード抜去術」「冠動脈形成術」「末梢血管形成術」の3つに適用が認められています。

営業の概況

Operating Results

新型コロナウイルス感染の拡大により患者様の受診抑制や検査及び手術数の減少の影響を受けたほか、病院の感染防止対策として営業活動の自粛を求められるなど厳しい状況にありましたが、社員の感染防止に努め、医療の安全・安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし、企業活動を行ってまいりました。

2022年3月期（通期）の業績予想

Outlook

2021年5月14日公表の通期予想を据え置いております。

2021年5月14日公表の2022年3月期の業績予想に対し、当第2四半期累計期間における進捗率は売上高47.4%、営業利益51.6%、経常利益51.7%、当期純利益53.3%となっております。新型コロナウイルス感染拡大に伴う今後の影響は今なお不透明ですが、現時点で通期業績予想に変更はありません。

2022年3月期の業績予想

（百万円）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2022年3月期	46,491	1,013	1,013	675
2021年3月期（実績）	41,007	847	850	572
増減率（%）	13.4	19.6	19.1	18.0

当社に関する詳しい情報は、ホームページでご覧ください。

<https://www.dvx.jp/ir/index.html>

最新のIR情報を掲載しています。

dvx

検索

「RAQUOSインジェクションシステム」販売開始

2021年7月19日に「RAQUOS(ラクオス)ディスポーザブルキット」の薬事認証を取得しました。

「RAQUOSディスポーザブルキット」は「RAQUOSインジェクションシステム」(2020年10月1日薬事認証取得)に接続して使用する専用キット(症状ごとに使用される消耗品)です。

今回の薬事認証取得により、「RAQUOSインジェクションシステム」及び「RAQUOSディスポーザブルキット」の国内販売を、2021年8月より開始いたしました。

本システムは、心臓血管インターベンション治療など血管造影を行う際の造影剤注入装置で、当社が国内企業と協力して開発した自社ブランド商品です。

開発にあたっては、医療現場のニーズを積極的に取り入れ、本体のコンパクト化やスムーズな操作性を実現し、高精度な造影剤注入により、鮮明な血管造影による診断をサポートします。

また、本システムを使用することで、手技時間の短縮や放射線被曝の低減、造影剤使用量の削減が期待され、医療従事者や患者様に優しい医療を提供します。

今後も「人に優しい医療」を実現すべく、事業活動を推進してまいります。



販売名: RAQUOSインジェクションシステム
 医療機器認証番号: 302ADBZX00087000
 管理医療機器・特定保守管理医療機器・設置管理医療機器

販売名: RAQUOSディスポーザブルキット
 医療機器認証番号: 303ADBZX00066000
 管理医療機器

インフォメーション

会社の概要 (2021年9月30日現在)

商号	ディービエックス株式会社 (DVx Inc.)		
設立	1986年4月1日(昭和61年4月1日)		
資本金	3億4千4百万円		
本社所在地	東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル5階		
代表者	代表取締役社長 柴崎 浩		
従業員数	330名		
事業内容	医療用機器ならびに関連周辺機器の輸出入および製造販売業、修理業、リース業 医療用機器ならびに関連周辺機器の研究・開発 医療および医療用機器全般のコンサルティング業務ならびにサービスの内外提供 医療出版および市場調査を含む関連サービスの内外提供		
営業所	北海道営業所 千葉営業所 東東京営業所 横浜営業所 沼津営業所 大阪営業所 広島営業所	仙台営業所 群馬営業所 東京中央営業所 山梨営業所 浜松営業所 福井営業所 福山営業所	茨城営業所 埼玉営業所 八王子営業所 静岡営業所 名古屋営業所 京都営業所 九州営業所
出張所	栃木出張所 宮崎出張所	島根出張所 沖縄出張所	高知出張所

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	柴崎 浩	取締役(社外)	村松 光春
取締役	鍋谷 正行	取締役(社外)	堂垣内 重晴
取締役	平能 直弘	取締役監査等委員	戸田 幸子
取締役	宮本 聡	取締役監査等委員(社外)	中村 真一
取締役	内田 好則	取締役監査等委員(社外)	野島 透

大株主 (上位8名) (2021年9月30日現在)

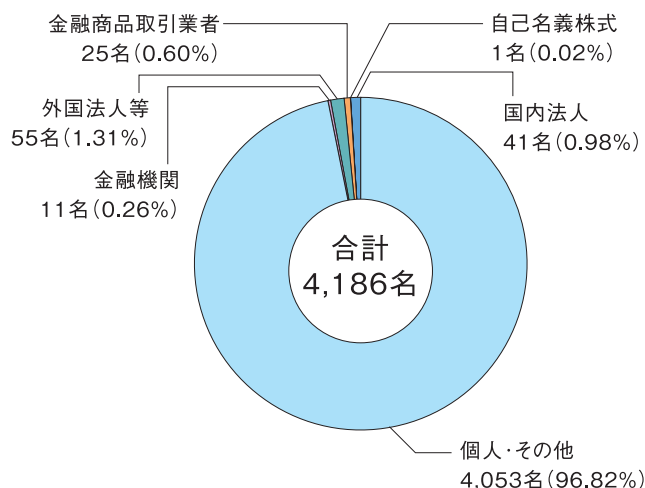
株主名	持株数	持株比率
株式会社MSS	3,404,600株	32.93%
光通信 株式会社	932,100株	9.02%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	703,300株	6.80%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	627,644株	6.07%
若林 稲美	322,000株	3.11%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	263,000株	2.54%
宮川 元	156,000株	1.51%
戸田 幸子	134,400株	1.30%

(注) 持株比率は、自己株式(442,044株)を控除して計算しております。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	10,780,000株
株主数	4,186名

所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



株主メモ (2021年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.dvx.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。